

## 大学医学部の新設に関する東北市長会特別決議について

### 《市長コメント》

東北市長会における「医学部新設をはじめとした東北地方の地域医療充実に向けた取り組みの推進に関する特別決議」について、御説明申し上げます。

今回の大震災では、本市の市立病院をはじめ多数の医療機関が被災したことにより、地域医療を取り巻く環境は、一段と厳しさを深めております。

特に、東北地方にあっては、もともと医師不足が顕著であり、これまでも、高齢化や過疎化といった地域課題を抱えており、地域医療の充実は喫緊の課題でありました。

これまで国においては、医師確保のため医学部の定員を増やすなどの措置を講じてまいりましたが、東北地方の医師不足は一向に改善していないのが現状であります。

このため、東北地方における医師の偏在を解消し、地域が必要とする総合医の養成とともに、地域に根差した医師を養成するなど、抜本的な解決に向けた対策を講じる必要があります。

この状況を鑑み、私は、現在国が凍結している医学部の新設を認めていただき、東北に医師を定着させ、へき地医療を含めた地域医療に貢献する医師を育成するシステムを持った医学部の創設が不可避であると考えました。

このことから、過日、5月17日の東北市長会において、私から趣旨説明を行い、全会一致で承認されたものであります。

今後は、全国市長会総会に合わせ、関係省庁に要望活動を行い、実現に向けた取り組みを積極的に行っていくこととしております。